

質 疑 回 答 書

工事名：奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁その他工事

令和7年9月8日

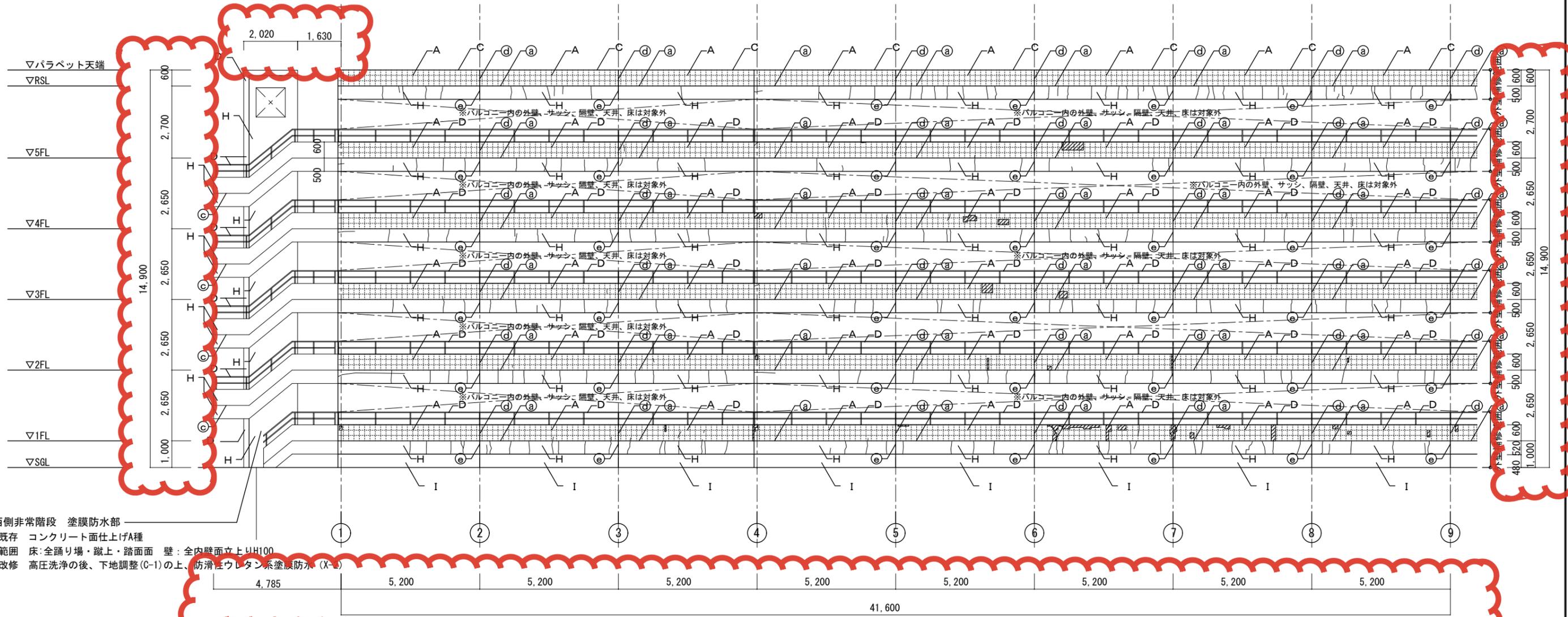
課 長	課長補佐	係 長	専 門 職 員	担 当 者
				

質疑回答書

工事名：奈良先端大 学生宿舎1棟外壁その他工事

標記工事の質疑について下記のとおり回答いたします。

No.	図面番号	質疑事項	回 答
1	図面番号 特-02 9 環境配慮改修工事	石綿含有建材の除去工事における除去対象範囲で外壁吹付材撤去部に○が表記してありますが、外壁吹付材は外壁改修部、全面石綿除去として施工いたしますでしょうか？または補修部の部分除去として施工いたしますでしょうか？表記のとおり外壁吹付材のみ含有分析結果であるならば剥離剤併用ケレン工法を想定しております。 ②上記の施工となった場合、補修部全面除去もしくは補修部部分除去として考える場合、施工数量明細をご提示お願いできないでしょうか？	外壁の既存外装吹付材(複層塗材E)は撤去せずそのままとし、高圧洗浄・補修・下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材REを施工してください。なお、石綿含有建材の事前調査結果ですが、石綿は外装吹付材(複層塗材E)ではなく、その下の下地調整塗材に含まれています。施工数量調査後に下地調整材の撤去が必要な場合は、監督職員に報告してください。
2	A-5～A-10	図面に寸法が記入されていないので拾い出しが出来ません。参考数量をいただけませんか。(塗装、高圧洗浄等)	A-05～A-10の図面に関して、別添のとおり差替えます。
3	A-02, A-05～ 10	A-05～10の凡例既存目地にはd誘発目地(タイル部分)5×7の記載がありますが、A-02外壁補修数量表には5×7の記載がありません。D誘発目地(タイル部分)は数量表のポリサルファイドシーリング5×5に含まれているのでしょうか	A-02の図面に関して、別添のとおり差替えます。なお、①誘発目地(タイル部分)は5×7となります。
4	—	工事作業員等は施設のトイレの使用が可能でしょうか 別途専用の仮設トイレの設置が必要でしょうか	対象建物(学生宿舎棟)には入れません。大学構内の建物トイレを使用は許可しますが、最寄は情報科学A棟になります。なお、仮設トイレの設置は許可します。
5	特-01	足場ですが、先行手摺工法によるクサビ締結足場でよろしいでしょうか？	よろしい。
6	A-07 A-10	①および②立面図におけるC-D間については塗装改修等無しということでしょうか？	そのとおり。 なお対象の立面図ですが、表現上C-D間は断面図になっており建物内部の廊下を指しています。
7	A-07～ A-10	エントランス部屋上部に足場足場縦地を立てるスペースは十分あるのでしょうか？	十分と考えますが、別添の図面寸法を確認の上、適切な足場を設置ください。なおエントランスホール上部の屋根面はコンクリート下地の上、シート防水です。



西側非常階段 塗膜防水部
 既存 コンクリート面仕上げA種
 範囲 床:全踊り場・蹴上・踏面 壁:全内壁面立上りH100
 改修 高圧洗浄の後、下地調整(C-1)の上、防錆ウレタン系塗膜防水(X-5)

A部
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

D部(手摺部)
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300 (バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

D部(西側屋外階段 H形鋼)
 既存 H-300×150×6.5×9(西側屋外階段)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 コンクリート取合部 シーリング打替え

H部
 既存 コンクリート面仕上げA種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

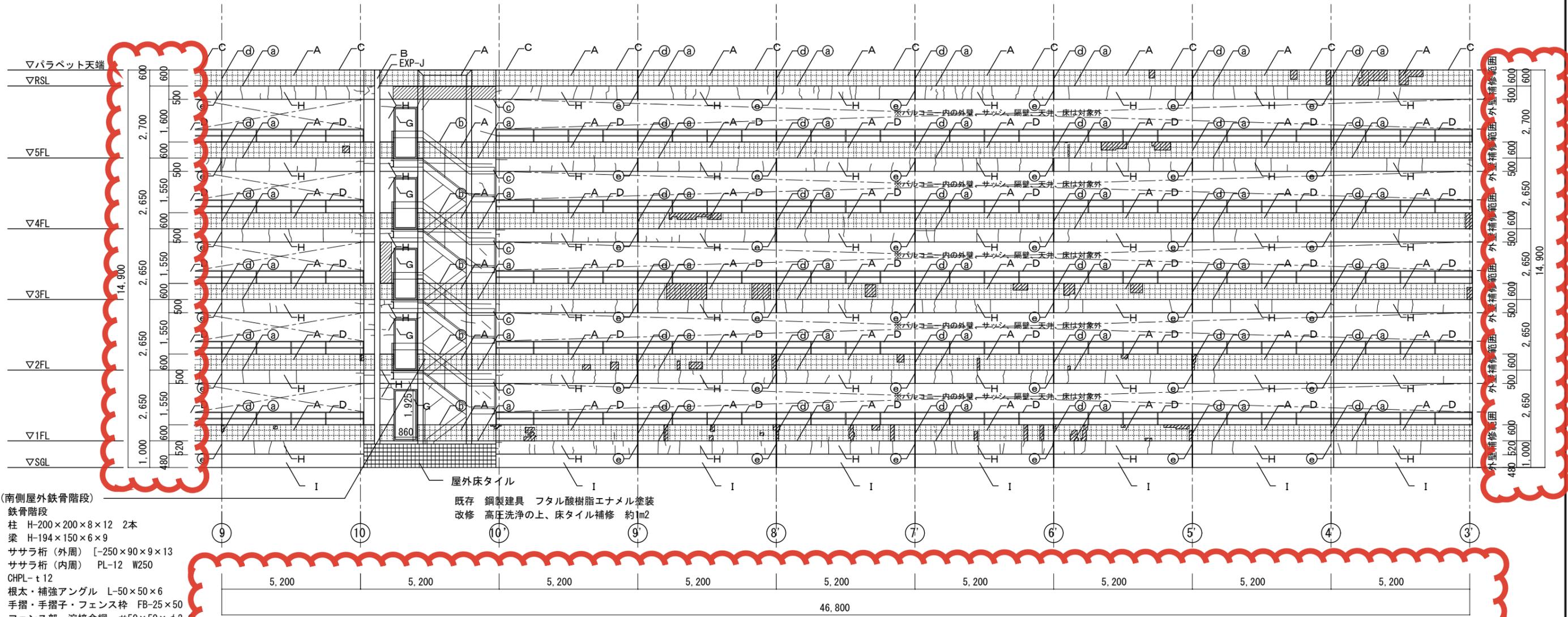
I部
 既存 コンクリート面仕上げA種
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

特記: 補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡例 外壁改修 	ひび割れ補修ヶ所 亀甲ひび割れ補修ヶ所 タイル浮き部補修ヶ所 剥落・剥離補修ヶ所 エフロ補修ヶ所	凡例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡例 既存目地 (全て打替え) a 打継目地 15×20 b 化粧目地(タイル部分) 15×20 c 化粧目地(RC部分) 15×25 d 誘発目地(タイル部分) 5×7 e 誘発目地(RC部分) 20×25
				B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替	H	コンクリート面仕上げA種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替	
				C	アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上げA種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替	
				D	スチール 既存FE → DP塗替			
				E	フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄			
				F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)			

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	縮尺 1:150
			図面名称 学生宿舎1棟 立面図 01	図面番号 A-05



D部(南側屋外鉄骨階段)
 既存 鉄骨階段
 柱 H-200×200×8×12 2本
 梁 H-194×150×6×9
 ササラ桁(外周) [-250×90×9×13
 ササラ桁(内周) PL-12 W250
 CHPL-t 12
 根太・補強アングル L-50×50×6
 手摺・手摺子・フェンス枠 FB-25×50
 フェンス部 溶接金網 #50×50×φ2
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

A部
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

B部(EXP-J)
 既存 アルミ
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(手摺部)
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

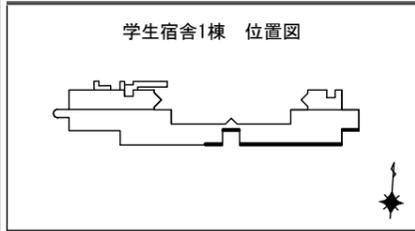
G部(南側屋外鉄骨階段 鋼製扉)
 既存 各階非常扉 W850×H2000 5ヶ所 フタル酸樹脂エナメル塗装
 改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10
 鋼製建具 下地調整(RB種)の上 DP塗装(両面 枠共)

H部
 既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

I部
 既存 コンクリート面仕上A種
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

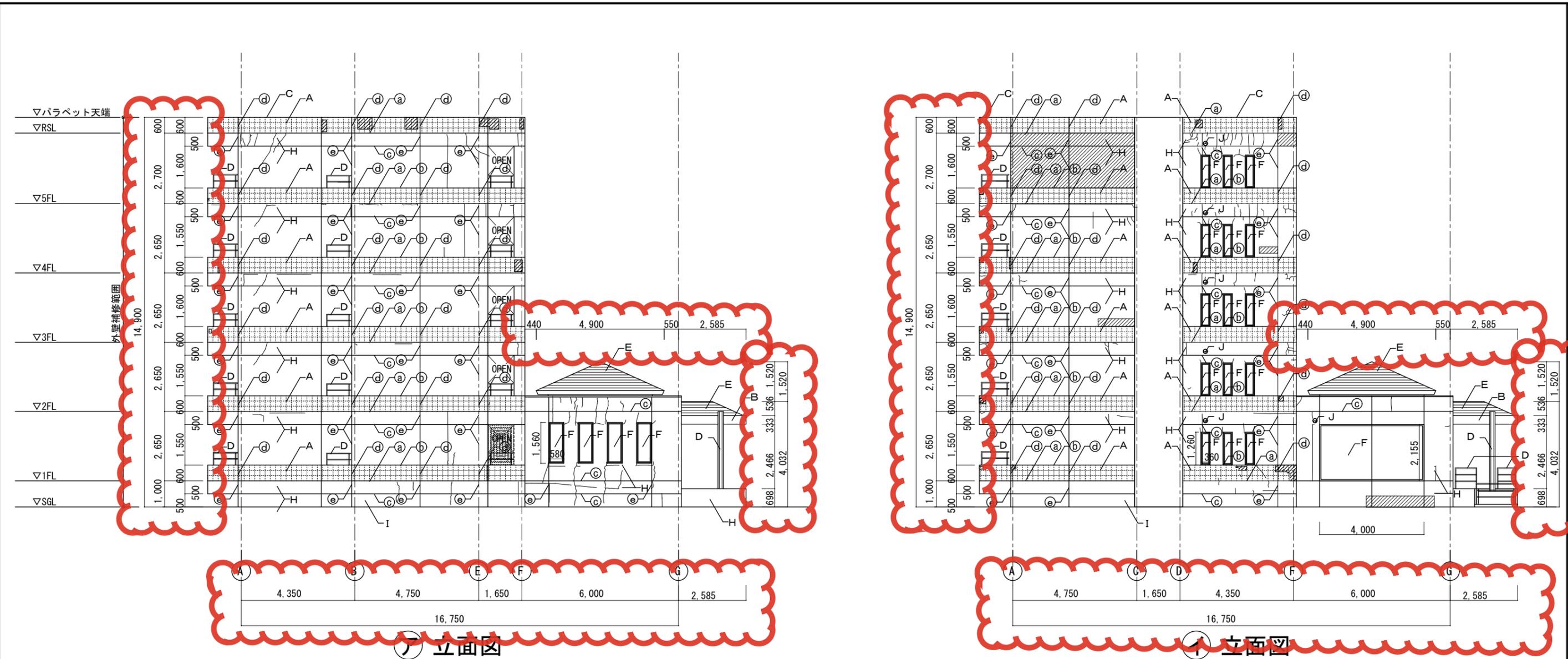
特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図



凡例	外壁改修	ひび割れ補修ヶ所	凡例	既存仕上	改修仕上	改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡例	既存目地	(全て打替え)	a	打継目地	15×20
		亀甲ひび割れ補修ヶ所					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地(タイル部分)	15×20		
		タイル浮き部補修ヶ所					C	アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地(RC部分)	15×25		
		剥落・剥離補修ヶ所					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地(タイル部分)	5×7		
		エフロ補修ヶ所					E	フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地(RC部分)	20×25		
							F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)								

訂正	令和 年 月 日	業務名	奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事		年度	令和7年8月		
		設計事務所名	株式会社岩崎建築設計事務所		管理技術者	一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者	図面名称	学生宿舎1棟 立面図 02	
												縮尺	1:150 A-06	



A部
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

B部(玄関屋根アルミ部)
 既存 アルミパネル フッ素焼付
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(手摺部)
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

D部(東側玄関 丸柱)
 既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

E部(玄関屋根鋼板 段葺き)
 既存 屋根フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き
 改修 高圧洗浄により水洗い
 取合部シーリング打替え10×10

F部(アルミ窓)
 既存 東側ラウンジ W520×H1435×4箇所
 改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

F部(アルミ窓)
 既存 西側ラウンジ窓 W(2687+2687)×H2035×1箇所
 西側ランドリー窓 W300×H1200×15箇所
 改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

H部
 既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

I部
 既存 コンクリート面仕上A種
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

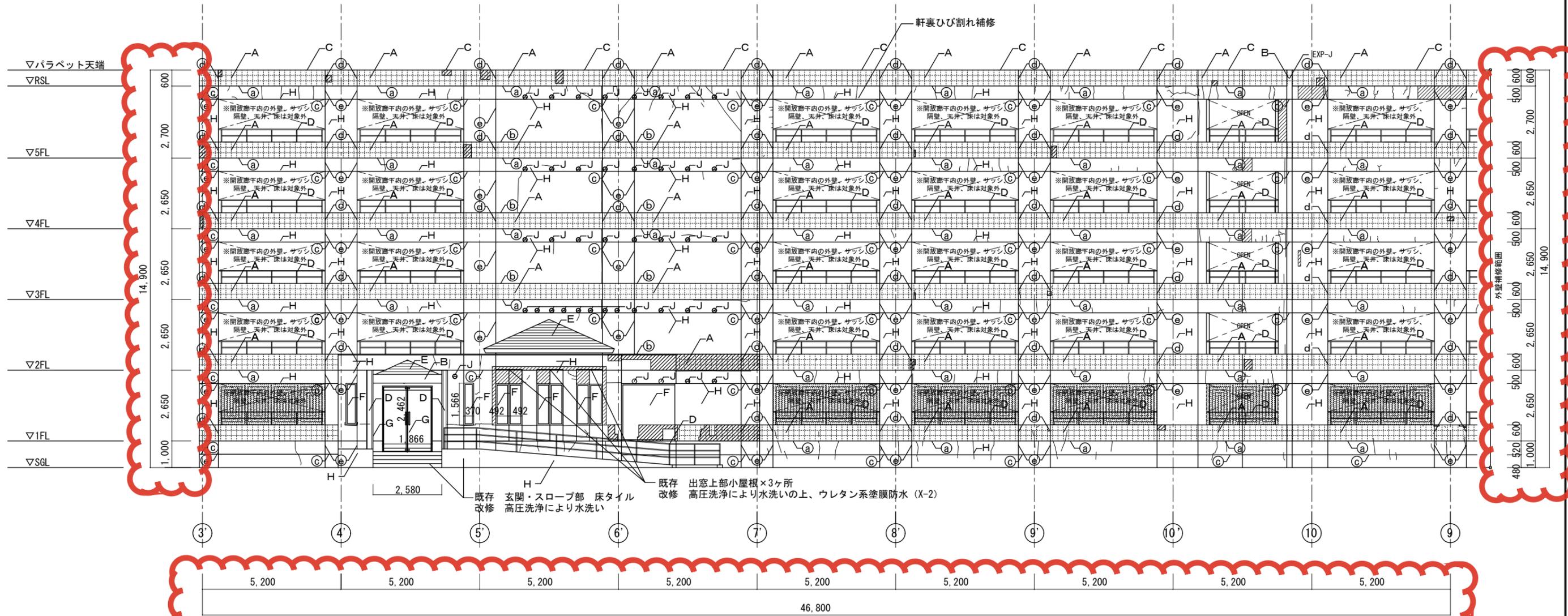
J部(ベントキャップ 150φ)
 改修 周囲シーリング打替え10×10
 清掃・さび汁処理共

特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡例 外壁改修 	ひび割れ補修ヶ所 	凡例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要 	A 50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡例 既存目地 (全て打替え)
				B アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替	
		C アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替	b 化粧目地(タイル部分) 15×20		
		D スチール 既存FE → DP塗替え		c 化粧目地(RC部分) 15×25		
		E フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄		d 誘発目地(タイル部分) 5×7		
		F アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)		e 誘発目地(RC部分) 20×25		

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	図面名称 学生宿舎1棟 立面図 03	縮尺 1:150 図面番号 A-07
	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健			



A部
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

B部(東側玄関 アルミ部)
 既存 アルミパネル フッ素焼付
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(手摺部)
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

B部(EXP-J)
 既存 アルミ
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(東側玄関 丸柱)
 既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

E部(玄関屋根鋼板 段葺き)
 既存 屋根フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き
 改修 高圧洗浄により水洗い
 取合部シーリング打替え10×10

F部(アルミ窓)
 既存 東側玄関ホール W300×H1435×2箇所
 東側ラウンジ W(495+495)×H1435×3箇所
 改修 アルミ製建具周囲シーリング打替え15×10
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

G部(鋼製扉)
 既存 東側玄関 W1800×H2460 1ヶ所
 東側玄関(身障者用) W900×H2460 1ヶ所
 改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10
 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

H部
 既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

I部
 既存 コンクリート面仕上A種
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

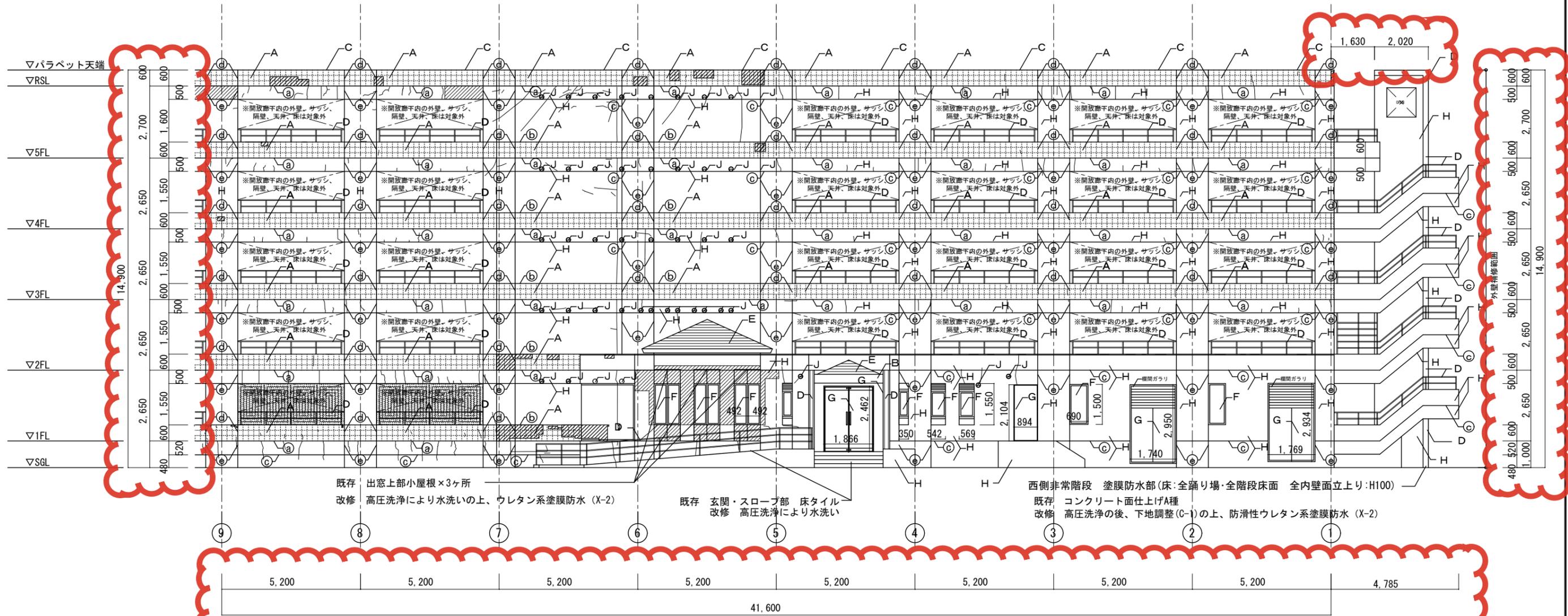
J部(ベントキャップ)
 改修 周囲シーリング打替え10×10
 清掃・さび汁処理共

特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡例 外壁改修	ひび割れ補修ヶ所	凡例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A 50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡例 既存目地 (全て打替え)	a 打継目地 15×20
		亀甲ひび割れ補修ヶ所		B アルミパネル 既存FB-E → DP塗替え	H コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b 化粧目地(タイル部分) 15×20
		タイル浮き部補修ヶ所	C アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c 化粧目地(RC部分) 15×25	
		剥落・剥離補修ヶ所	D スチール 既存FE → DP塗替え			d 誘発目地(タイル部分) 5×7	
		エフロ補修ヶ所	E フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄			e 誘発目地(RC部分) 20×25	
			F アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)				

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	図面名称 学生宿舎1棟 立面図 O4	縮尺 図面番号 1:150 A-08
	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健			



既存 出窓上部小屋根×3ヶ所
 改修 高圧洗浄により水洗いの上、ウレタン系塗膜防水 (X-2)

既存 玄関・スロープ部 床タイル
 改修 高圧洗浄により水洗い

西側非常階段 塗膜防水部(床:全踊り場・全階段床面 全内壁面立上り:H100)
 既存 コンクリート面仕上げA種
 改修 高圧洗浄の後、下地調整(C-1)の上、防滑性ウレタン系塗膜防水 (X-2)

A部
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

B部(西側玄関 アルミ部)
 既存 アルミパネル フッ素焼付
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(手摺部)
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

D部(西側玄関 丸柱)
 既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

E部(玄関屋根鋼板 段葺き)
 既存 屋根フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き
 改修 高圧洗浄により水洗い
 取合部シーリング打替え10×10

F部(西側玄関 アルミ窓)
 既存 玄関ホール W300×H1435×2箇所
 ラウンジ W(495+495)×H1435×3箇所
 改修 アルミ製建具周囲シーリング打替え15×10
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

G部(鋼製扉)
 既存 鋼製建具(樞戸) W1800×H2460 1ヶ所
 鋼製建具(樞戸) W900×H2460 1ヶ所
 鋼製建具 W900×H1800 1ヶ所
 鋼製建具 W1800×H2920(欄間ガラリ) 2ヶ所
 改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10
 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

H部
 既存 コンクリート面仕上げA種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

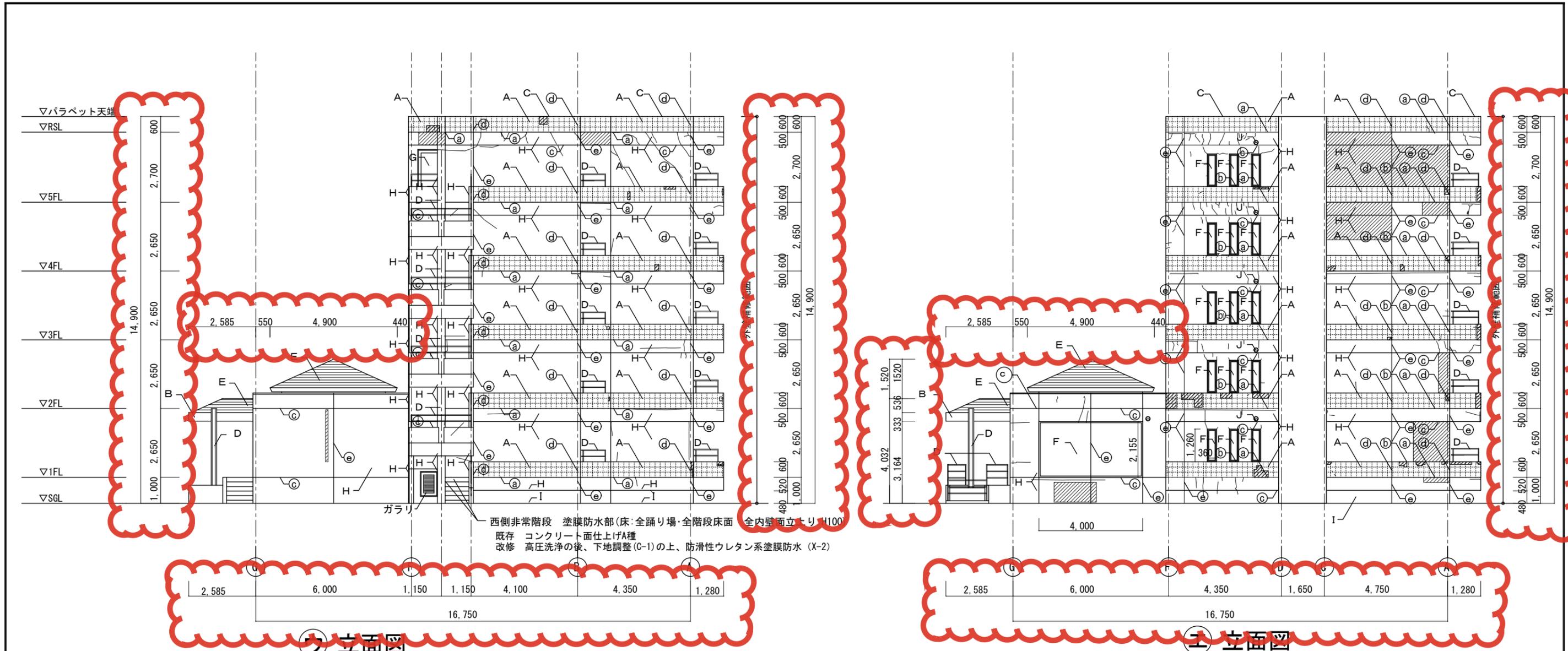
J部(ベントキャップ)
 改修 周囲シーリング打替え10×10
 清掃・さび汁処理共

特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡例 外壁改修 	ひび割れ補修ヶ所 	凡例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要 	A 50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理 B アルミパネル 既存FE → DP塗替え C アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト D スチール 既存FE → DP塗替え E フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄 F アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)	G スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共) H コンクリート面仕上げA種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替 I コンクリート面仕上げA種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替	凡例 既存目地 (全て打替え) 	a 打継目地 15×20 b 化粧目地(タイル部分) 15×20 c 化粧目地(RC部分) 15×25 d 誘発目地(タイル部分) 5×7 e 誘発目地(RC部分) 20×25
		亀甲ひび割れ補修ヶ所 		タイル浮き部補修ヶ所 	剥落・剥離補修ヶ所 		エフロ補修ヶ所

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	縮尺 図面番号 1:150 A-09
			図面名称 学生宿舎1棟 立面図 05	



左立面図

右立面図

- A部**
 既存 50角磁器質タイル張り
 改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)
- B部(西側玄関 アルミ部)**
 既存 アルミパネル フッ素焼付
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
- D部(手摺部)**
 既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65
 支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 支柱周囲 シーリング打替え10×10

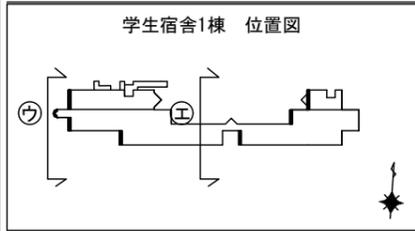
- D部(西側屋外階段 H形鋼)**
 既存 H-300×150×6.5×9(西側屋外階段)
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
 コンクリート取合部 シーリング打替え
- D部(玄関 丸柱φ267.4)**
 既存 スチール フタル酸樹脂エナメル塗装
 改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装
- E部(玄関屋根鋼板 段葺き)**
 既存 屋根フッ素樹脂鋼板 t.0.4 段葺き
 改修 高圧洗浄により水洗い
 取合部シーリング打替え10×10

- F部(アルミ窓)**
 既存 東側ラウンジ窓 W(2687+2687)×H2035×1箇所
 東側ランドリー窓 W300×H1200×15箇所
 改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10
 ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)
- G部(西側屋外階段 鋼製扉)**
 既存 1階ガラリ戸 W600×H900 1ヶ所
 各階非常扉 W900×H1880 5ヶ所
 改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10
 下地調整(RB種)の上 DP塗装

- H部**
 既存 コンクリート面仕上げA種 複層塗材E
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE
- I部**
 既存 コンクリート面仕上げA種
 改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE
- J部(ベントキャップ150φ)**
 改修 周囲シーリング打替え10×10
 清掃・さび汁処理共

特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。
 タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図



凡例	外壁改修	ひび割れ補修ヶ所
		亀甲ひび割れ補修ヶ所
		タイル浮き部補修ヶ所
		剥落・剥離補修ヶ所
		エフロ補修ヶ所

凡例	既存仕上	改修仕上	改修概要
A	50角磁器質タイル張り	→	ひび割れ・欠損・浮き部処理
B	アルミパネル	既存F-BE	→ DP塗替え
C	アルミ笠木(既製品)	シルバーアルマイト	
D	スチール	既存FE	→DP塗替え
E	フッ素樹脂鋼板 t.0.4	段葺き	→ 高圧洗浄
F	アルミサッシュ	シルバーアルマイト	→ 建具清掃(ガラス共)

凡例	既存目地(全て打替え)	目地	サイズ
a	打継目地		15×20
b	化粧目地(タイル部分)		15×20
c	化粧目地(RC部分)		15×25
d	誘発目地(タイル部分)		5×7
e	誘発目地(RC部分)		20×25

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	縮尺 1:150 図面番号 A-10
			図面名称 学生宿舎1棟 立面図 06	

改修工事概要		
工事建物	工事項目	工事内容
■ 学生宿舎1棟 外壁改修	1. 外壁の改修	外壁：ひび割れ補修【コンクリート面、タイル面】 外壁：浮き・欠損 補修【コンクリート面、タイル面】 外壁：エフロレッセンス補修【コンクリート面、タイル面】
	2. 階段床の改修	既存 コンクリート 高圧洗浄、下地調整（ポリマーセメントモルタルにより平滑に補修）の上 防滑性ウレタン系塗膜防水（X-2工法）新設
	3. シーリング打替え改修	アルミ製建具周囲・鋼製建具周囲・打継目地・誘発目地・化粧目地・コンクリート鉄部取合い部、シーリング打ち替え
	4. 鋼製部の塗装替え改修	既存 鋼製ガラリ・鋼製手摺部・階段鉄骨部・鋼製建具 下地調整（R種）の上DP塗装
	5. 外壁の塗装替え改修	既存 コンクリート打放しの上 複層塗材E 高圧洗浄、下地調整材（C-1）塗の上 可とう形改修塗材RE
	6. その他（樹木の枝払い等）	樹木枝払い：樹高8m枝張5m幹径0.3m 樹高8m枝張4m幹径0.3m×2本 樹木強剪定：樹高8m枝張5m幹径0.3m 樹高6m枝張3m幹径0.1m×2本 樹高7m枝張4m幹径0.3m 樹高2.5m枝張3m幹径0.1m 樹高5m枝張2.5m幹径0.2m 樹高7m枝張1m幹径0.1m×2本 樹高8m枝張3m幹径0.15m 樹高5m枝張5m幹径0.2m 樹高8m枝張5m幹径0.3m 低木樹高1.8m 8m程度 低木樹高1.5m 20m程度 低木樹高1.0m 2m程度 鋼製扉枠共撤去・新設 5階のみ アルミ・鋼製建具 ガラス面：イオンデポジット除去（ウロコ落とし） アルミ・鋼製建具 建具枠：清掃

外壁補修数量表（参考数量）

部位・工法	ひび割れ補修 塗装面	ひび割れ補修 タイル面下	浮き (欠損) 補修 塗装面	エフロ 補修	外壁タイル補修								シーリング打ち替え									
					タイル張替工法								---									
					平面 グレー	平面 ヌター	平面 着色	役物 グレー 3面	役物 グレー 2面	役物 ヌター 2面	アンカビ ンク [®] 部分 エポキシ樹脂 注入工法	ホ [®] リサル ファイ [®] シーリング 20×15	ホ [®] リサル ファイ [®] シーリング 15×10	ホ [®] リサル ファイ [®] シーリング 5×7	変成シリ コン シーリング 15×10	変成シリ コン シーリング 5×7	変成シリ コン シーリング 10×10	変成シリ コン シーリング 15×15	ポリウレ タン シーリング 25×15	ポリウレ タン シーリング 25×20	ポリウレ タン シーリング 15×10	
単位	m	m	m ²	箇所	m ²			箇所	m	m ²	m											
学生宿舎1棟	東	136	3.4	2.5	12	0.5	0	0	0	0	0	4.3	259	0	36.0	87.4	0	43.8	0	107	116	0
	南	311	16.8	5.8	58	2.4	0	0	25	5	0	21.1	971	0	81.6	32.8	0	539	0	87.9	59.2	0
	西	153	3.1	2.9	11	0.4	0	0	0	0	0	3.9	234	0	32.4	106	0	34.5	0	137	99.2	0
	北	417	13.1	7.8	46	1.9	0	0	5	5	0	16.5	895	0	145	128	0	597	0	275	252	0
数量合計		1017	36.4	19.0	127	5.2	0	0	30	10	0	45.8	2359	0	295	354	0	1214	0	607	526	0

外壁補修図

ひび割れ補修（塗装面）	ひび割れ補修（タイル面下）	浮部補修（塗装面）	欠損部 補修（タイル面）	浮き（欠損） 露筋部補修（塗装面）	エフロ補修	浮き部 補修（タイル面）	浮き部 補修（タイル面）
<p>高圧洗浄(10Mpa) コンクリートひび割れ部エポキシ樹脂注入 下地調整塗材C1(吹付面)の上 パターンあわせ後、仕上塗材塗り</p>	<p>カッター切り タイル(下地モルタル共)撤去 コンクリートひび割れ部エポキシ樹脂注入 タイル張り(下地モルタル共) 高圧洗浄(10Mpa)</p> <p>※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。</p>	<p>高圧洗浄(10Mpa) アンカビ[®]ンク[®]エポキシ樹脂注入 下地調整塗材C1(吹付面)の上 パターンあわせ後、仕上塗材塗り</p>	<p>カッター切り タイル(下地モルタル共)撤去 タイル張り(下地モルタル共)の上 高圧洗浄(10Mpa)</p> <p>※コンクリート面にひび割れがあった場合は ひび割れ補修(タイル面)による ※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。</p>	<p>高圧洗浄(10Mpa) 浮部撤去(さび止め塗料) エポキシ樹脂モルタル塗の上 パターンあわせ後、仕上塗材塗り</p>	<p>高圧洗浄(10Mpa)の上 弱酸性洗剤にて洗浄</p> <p>※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。</p>	<p>カッター切り タイル(下地モルタル共)撤去 タイル張り(下地モルタル共)の上 高圧洗浄(10Mpa)</p> <p>(1か所あたりの浮き面積1m2以上 のか所で適用する。)</p>	<p>高圧洗浄(10Mpa)の上 アンカビ[®]ンク[®] エポキシ樹脂注入 49本/m2</p> <p>(1か所あたりの浮き面積1m2未満 のか所で適用する。)</p>

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	図面名称 改修工事 概要 外壁補修図・数量表	縮尺 No Scale
				図面番号 A-02